

## 2 回目は自分の限界に挑戦

### 4141 大田 米男 (61 歳) 小倉南区 (株)ダイフク 記録 19 時間 28 分 2 回目

昨年は初めての挑戦であり、なにもわからず無我夢中で歩いた。その結果 20 時間 34 分でゴールゲートをくぐることができた。

その時にひとつの目標ができた。来年は 20 時間を切ること。

さて 2 回目の当日(10 月 6 日 土曜日)、今年は埼玉県から同級生の友人と一緒に参加してくれた。彼は今でもフルマラソンを走っている現役のランナーである。そのことには敬服している。昨年はたったひとりでの参加であり心細い面があったが、今回は楽しめそう。また ほかの同級生にも多数に PR をしていたおかげで、応援のメール、電話が次々と入ってくる。

そして運命のスタート。12 時 40 分となった。

#### 【第一区間】 36 キロ 行橋—中津駅

ここは河川敷・海岸・漁港などがあり、楽しんで歩ける区間である。

昨年同様 [てくてくと歩く] 中津駅の到着は予定通りの 19 時丁度であった。

#### 【第二区間】 25・5 キロ 中津駅—宇佐

昨年は [黙々と歩く] という表現をしたが今年も同じ。宇佐に入ってから CP の休憩所までが遠い。なかなかたどり着けない。遠い、遠い、まだか、まだか、と後ろを振り返れば友人も必死で付いて来ている。話をしている場合ではない。休憩所の明かりが見え始めた時に時間を見ると、予定の時間で到着しそうである。そして 24 時丁度に CP についた。うどんを食べて脚のケアを行いすぐに出発する。うどんがおいしかったなー。

#### 【第三区間】 25 キロ 宇佐—日出

問題の区間である。昨年は [ひいひい歩く] と表現したが今年は [ぜいぜいと歩く] と感じた。それは七曲りの山登りである。友人は何の問題もなくスイスイと登っているが私は本当にぜいぜいと息を切らし、ヨタヨタと何とか登っている。意地悪なコース！！それでも友人に遅れることはなく付いていった。又 登り終えた後の下だりが長い。昨年よりも下りの距離がのびたのではないかと思った。えんえんと下だりが続き足裏が痛い、太ももが痛い。ようやく下だりが終わり次は赤松峠の長い上りが待っていた。この頃は人影も少なくなりポツリポツリと背中の中の点滅ランプが見え隠れするのみである。ここも友人と二人でペースを落とさずに歩いた。さすがにマラソンランナーだけあり、体力は大丈夫みたいである。75 キロをすぎたあたりで足裏に肉刺(まめ)ができてきた。がまんして歩く。そして日出の CP に予定時間よりも 40 分早く到着した。

原因は七曲りの時間短縮であろう。日出到着時間は 5 : 20 分だった。

第三区間に入っても同級生より激励のメールや電話が入ってきた。皆寝ていないのかな？嬉しい限りである。しかし同級生には随分迷惑をかけているなと思った。おかげで一番辛い区間を頑張ることができた。。

#### 【第四区間】 14 キロ 日出—別府

日出を出発するときはまだ夜が明けていなく、暗い中での出発となった。昨年はもうすでに明るかったことを覚えている。この時間だと目標の 20 時間切りは達成できると確信した。そしていかに残りの距離を早く歩けるかという目標にして、ぐんぐんスピードアップした。別府の湾岸道路でみた朝日の美しい姿をみて感動し、ひたすらゴールを目指した。友人もかなりバテてきた。

そしてゴール！ 友人と二人で万歳しながらゴールのテープを切った。

## 【最後に】

今年も本当に苦しかった、きつかった、辛かった。それらがゴールの瞬間にどこかへ吹き飛んでゆく。記録的にも満足できる時間であり友人の力の大きさに感謝したい。そして道中応援してくれた 同級生、家族へ「ゴールしたよ！」と連絡し、ともに喜び感動を味わった。顔はウルウル状態でありうまく感謝の言葉が言えないもどかしさを感じる自分がいた。来年は又 仲間を増やして参加したい。そしてもう少しゆっくり 20 時間超で余裕のある歩きをしたい。出来るかな？

2 回目もいろいろな感動をもらい、サポートしてもらったウオーク実行委員会への感謝も忘れる事ができない。又今年も美味しいビールを味わうことができた。ありがとうございました。

帰宅して足裏をよく確認すると肉刺（まめ）が 5 個出来ていた。これで一週間はじっと我慢して治療に専念しなければならない。・・・残念・残念。

ゼッケン 4 1 4 1 が本人  
完歩証を手にゴール前でパチリ

## 記録追記

今回の大会テーマ【こころの遠足】

10/6 参加者数：4300人 完歩者数：○○○○人

大田記録：19時間28分00秒 順位：600位

平均時速：5.2 Km/H

012年10月18日作成